



2024年2月2日

各位

会社名 H E R O Z 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 林 隆 弘
(コード番号:4382 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 C F O 森 博 也
(TEL 03-6435-2495)

2024年4月期第3四半期決算における
特別損失（のれん一括償却等）の計上に関するお知らせ

当社は、個別決算で実施する連結子会社であるバリオセキュア株式会社（以下、「バリオセキュア」）の株式の減損処理に伴い、2024年4月期第3四半期の連結決算において、のれんの一部の一括償却（以下、「本償却」）による特別損失の計上を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

記

1. バリオセキュアに関する損失計上の内容

当社は、2021年9月にバリオセキュアとの資本業務提携を行い、「バリオセキュアが保有する希少なセキュリティ人材のドメインナレッジ」×「当社が保有するAI人材」による技術専門集団ならではの継続的な新規サービス創出体制の確立を目指すべく、両社で協議を継続してまいりました。その後2022年9月に第三者割当増資の引き受けを行い、バリオセキュアを連結子会社といたしました。現在、当社が所有するバリオセキュアの普通株式の所有割合は42.8%です。

2024年1月31日時点のバリオセキュア株式の市場価格が取得原価と比較して50%以上下落したことに伴い、当社は当該株式の減損処理を個別決算にて行います。その結果、連結決算において、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」の規定に基づき、本償却を行うこととなりました。

なお本償却は、連結決算におけるバリオセキュア株式の市場価格の下落に伴うのれんの一部の一括償却であり、バリオセキュアの個別決算で計上しているのれんの償却を行うことを意味しているものではございません。

2. 業績・業務に与える影響について

2024年4月期第3四半期において、連結決算でバリオセキュアののれんの償却による特別損失891,209千円、個別決算で関係会社株式評価損1,506,362千円の計上を見込んでおります。なお個別決算における関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

また、上記金額については、監査法人と最終協議中であり、状況の変化がありましたら、改めてお知らせいたします。

2024年4月期通期業績予想は、本件に加えて、2023年11月に行った株式会社エーアイスクエアの株式取得（子会社化）の影響と合わせて現在精査中であり、2024年4月期第3四半期の決算発表（2024年3月8日の予定）にて公表を予定しております。

バリオセキュアののれんの償却は、2024年4月末におけるバリオセキュアの株価が回復した場合には、2024年4月期通期決算において戻入れを行う可能性があります。が、株価が回復せず2024年4月期通期決算において一括償却をした場合においては、その後戻入れは発生いたしません。また本償却は当社個別決算における単体財務諸表における株式の評価減を起因とした一過性の費用であり、またバリオセキュア自体の個別財務諸表におけるのれんの再評価を行ったものではありません。バリオセキュアにおいては、2024年1月11日に発表した同社の第3四半期決算（IFRS）において、2024年2月期の当期利益の予想額308百万円に対して、第3四半期累計の四半期利益は既に288百万円を計上し業績予想に対する進捗率は93.6%と事業は順調に推移しております。

さらに、当社においても、2023年12月8日に開示した第2四半期決算にて、連結営業利益の予想額400百万円に対して、第2四半期累計の連結営業利益は252百万円と進捗率は63%と順調に推移しております。

引き続きグループ全体でシナジーを創出し企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上